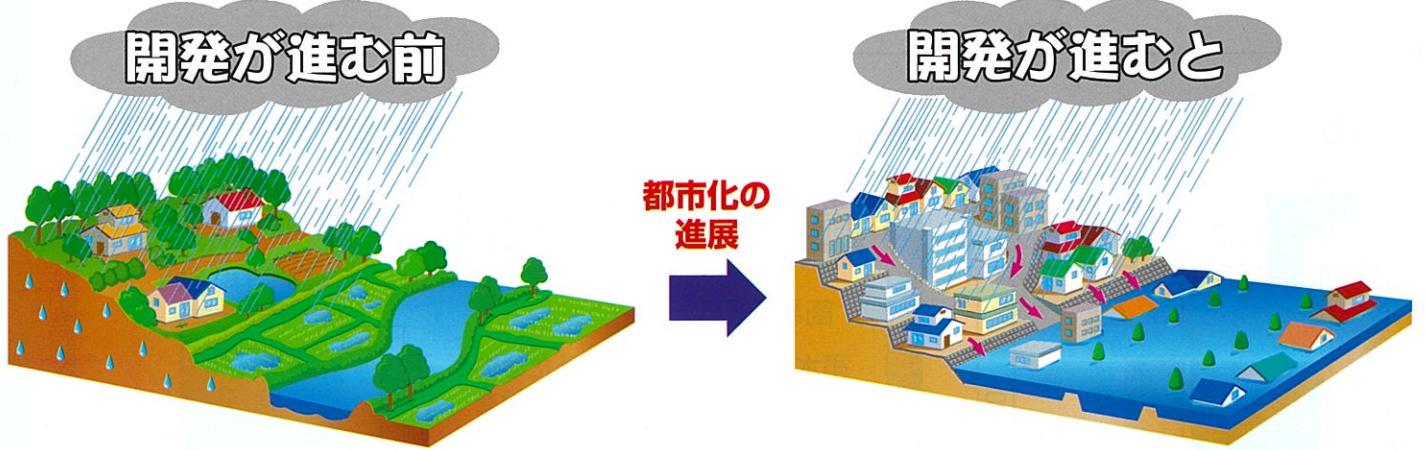


# なぜ今、雨水貯留・浸透施設なのか

## 雨水について考えてみましょう

田畠が多かった昔と比べて、今は地表の多くが建物やアスファルトの道路で覆われたため、雨水がしみ込みにくくなり、下流域にたくさん流れてくるようになってきました。特に短時間に大量の雨が降ると、屋根や道路の上を流れた雨水が一気に河川に流れ込むため、地盤の低い地域では浸水被害が発生し、一部では河川が氾濫したりしています。また、雨水が地面にしみ込まず河川に流れ込むことにより、地下水や湧水の減少や平常時の河川水量が減少するなど自然の水の流れを妨げる要因の一つにも上げられています。

このような被害を防ぐためには河川や水路の整備だけではなく、降った雨が一度に河川に流れ込まないように**地域全体で貯留浸透能力を高め、雨水の流出を抑制する必要があります。**



雨水の多くが地中に浸透したり、水田やため池に貯留され、下流への流出は抑えられています。

## 雨水をゆっくり川へ流すために



雨水をためたり、地下にしみこませたりしてゆっくり流したりすることによって、皆さんのご家庭でも取り組んでいたことができます。より高い効果を得るために、皆さんのご協力をお願いします。

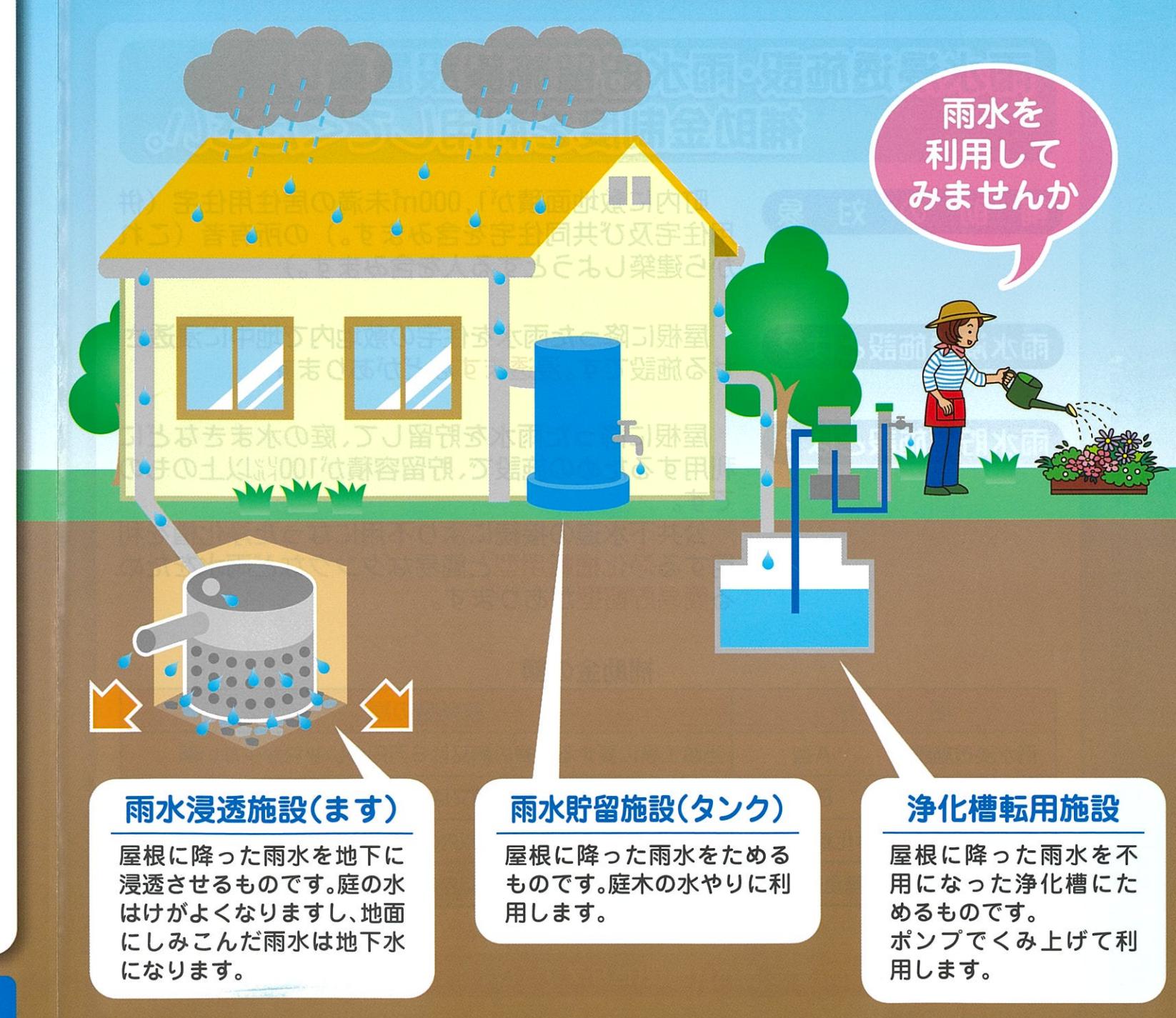
問い合わせ先

函南町役場 都市計画課 TEL 055-979-8117

# 浸水被害防止にご協力を!!

## 雨水浸透ます。

## 雨水貯留タンク等の 補助金制度を利用しましよう!



雨水を  
利用して  
みませんか

# ゲリラ豪雨などによる浸水被害防止にご協力を!!

## ~庭木の水やりに雨水を有効活用しませんか~

最近の雨は短時間に集中的に降ることから“ゲリラ豪雨”と呼ばれ、その影響により山間地で降った雨水が一気に下流域へ流れ込み、浸水被害を受ける地域が多くあります。

そこで、浸水被害を少しでも軽減するためには河川や水路の整備だけでなく、降った雨が一度に流れ込まないように流域全体での取り組みが必要です。皆さんも浸水被害に関心を持ち、自分にできる小さなことから実践してみませんか。

例えば、雨の日にバケツを外に出すこともあります。2万軒のご家庭で15リットルのバケツに水をためると25mプール1杯分、川の負担が軽減できます。また、雨が止んだ後にバケツの水を流すことで、急激に川へ水が流れ込むことを防ぐことができます。町では、住宅の屋根に降った雨水を貯留するタンクなどを設置する場合、又は浸透式の雨水ますを設置する場合に、その経費の一部を補助する制度があります。詳しくは、町のホームページをご覧になるか、都市計画課にお問い合わせください。

## 雨水浸透施設・雨水貯留施設設置費の補助金制度を利用してください。

### 補助の対象

町内に敷地面積が1,000m<sup>2</sup>未満の居住用住宅（併用住宅及び共同住宅を含みます。）の所有者（これから建築しようとする人を含みます。）

### 雨水浸透施設とは？

屋根に降った雨水を住宅の敷地内で地中に浸透させる施設です。**浸透ます**などがあります。

### 雨水貯留施設とは？

屋根に降った雨水を貯留して、庭の水まきなどに利用するための施設で、貯留容積が100リットル以上のものです。

公共下水道の接続により不用になった浄化槽を利用する**浄化槽転用型**と簡易なタンクなど雨水をためる**簡易貯留型**があります。

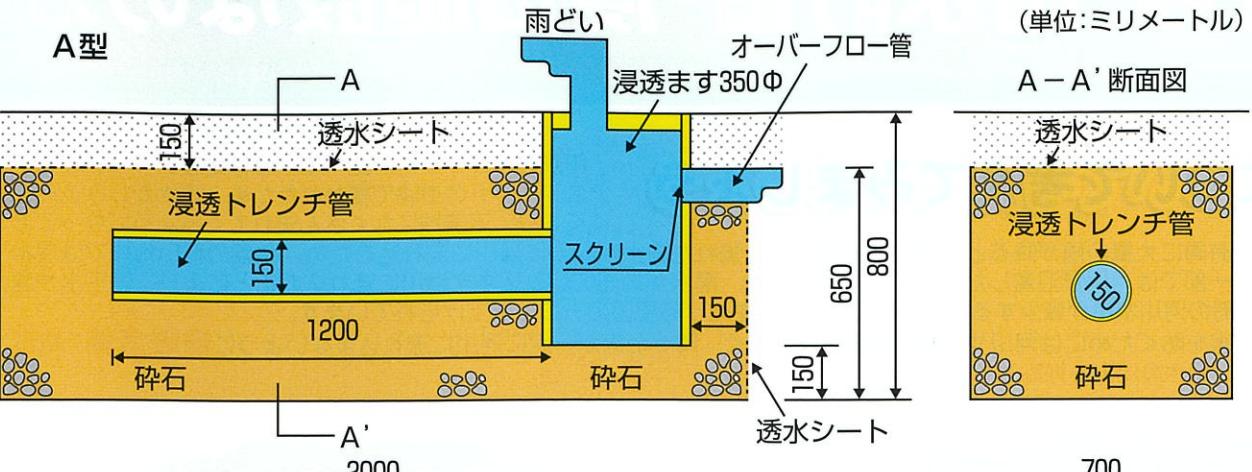
### 補助金の額

区分		補助金の額
雨水浸透施設	A型	当該工事に要する経費の額又は6万円のいずれか少ない額
雨水浸透施設	B型	当該工事に要する経費の額又は5万円のいずれか少ない額
雨水貯留施設	浄化槽転用型	当該工事に要する経費の1/2以内の金額又は8万円のいずれか少ない額
雨水貯留施設	簡易貯留型	当該工事に要する経費の1/2以内の金額又は5万円のいずれか少ない額

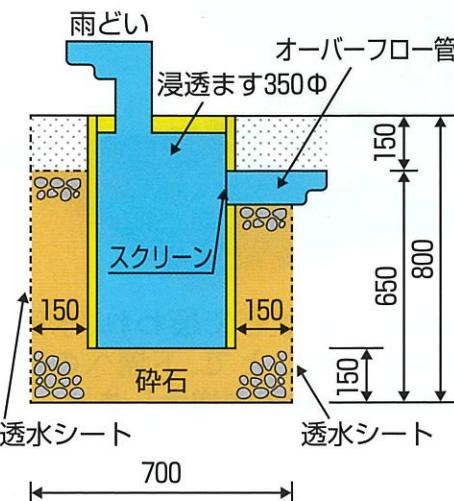
※標準の構造は次頁をご覧ください。

※詳しい内容は函南町役場 都市計画課(Tel 979-8117)までお問い合わせください。

### 雨水浸透施設の標準構造図



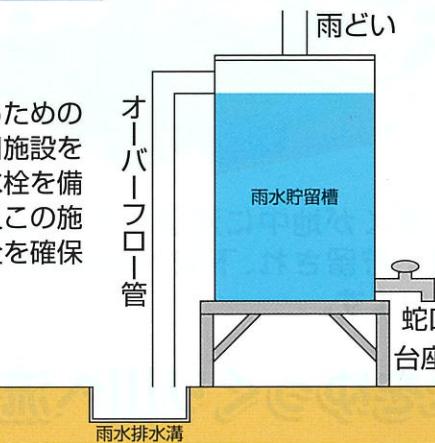
### B型



### 雨水貯留施設の設置基準

#### 簡易貯留型

雨水を貯留して利用するための雨水貯留槽（浄化槽転用施設を除く）及びこれに係る水栓を備えたものに限ります。又この施設が転倒しないよう安全を確保してください。



#### 浄化槽転用型

公共下水道への接続により、不用になった浄化槽を転用したものに限ります。施設には雨水の取り入れ口とそれを汲み出すポンプ等の設備が必要です。

